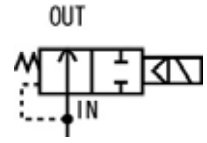


取扱説明書

パイロット式 通電閉型

二方向電磁弁

型番号：BN - 7K230



1.仕様

呼び口径	8 A	10 A	15 A	20 A	25 A	40 A
配管接続口	Rc1/4	Rc3/8	Rc1/2	Rc3/4	Rc1	Rc1-1/2
使用流体	空気・水					
使用圧力	0.03 ~ 1.0 MPa					
耐圧力	1.5 MPa					
周囲温度	-10 ~ 50					
図面番号	Z-4530			Z-4531		Z-4532

パイロット部

型式	800型式パイロット
ソレノイド型式	P80-a
定格電圧	AC100V、200V(110V,220V) (50/60Hz共用)
消費電力	起動時 20 / 17 VA (50/60Hz)
	定常時 12 / 9 VA (50/60Hz)
電圧許容範囲	±10%
絶縁階級	E種
パイロット図面	Y-7454

2.構造

本弁はパイロット駆動のダイヤフラム式二方向電磁弁です。使用圧力範囲が広く、また、外部と完全に遮断された構造となっているので、流体が外部に漏れることはありません。

3. 作 動

ソレノイド通電するとプランジャ(19)は吸引されて上昇し、バルブ中央のパイロット穴が閉じ、ダイヤフラム上部室内の流体は、二次側への流れを停止します。従って、この上部室内の圧力は一次側圧力と等しくなり、バルブ(またはダイヤフラム)は更に押し下げられ本弁は閉となります。ソレノイドを消磁すると、プランジャ(19)はバネ(20)、(30)によって押し上げられ、バルブの中心にあるパイロットが開きます。そしてダイヤフラム上部室内の流体は二次側へ流れます。従って、バルブ(ダイヤフラム)は一次側圧力によって押し上げられ本弁は開となり、流体は二次側へと流入します。

4. 取扱い

4.1 取付・配管

- 1) 取付姿勢は直立を原則とします。横に寝かせた姿勢は避けてください。
- 2) 取付穴は設けてありませんので、配管で支持してください。
- 3) 流れ方向は本弁に示された矢印のように流体が流れるように取付けてください。
- 4) 配管の前には配管内を十分にフラッシングして、固形物やシールテープ破片などが入り込まないようにしてください。
- 5) 配管の際はソレノイドカバー(15)を持ってねじ込まないようにしてください。
- 6) 逆圧が加わる恐れのある回路に使われるときは、この逆圧のために弁閉止が不能となりますので二次側に逆止弁を設けてください。
- 7) 保守点検に便利なように周囲に余裕空間を設けてください。

4.2 保 守

- 1) 取付後一カ年に一度は分解点検を行い良好なコンディションを維持してください。
- 2) 分解して部品洗浄の際は軽油などの鉱物性油を用いてください。
シンナーやトリクレンなどの溶剤は用いないでください。
- 3) 本弁には潤滑油は不要です。摺動部にグリースなどを塗らないようにしてください。

5. 故 障

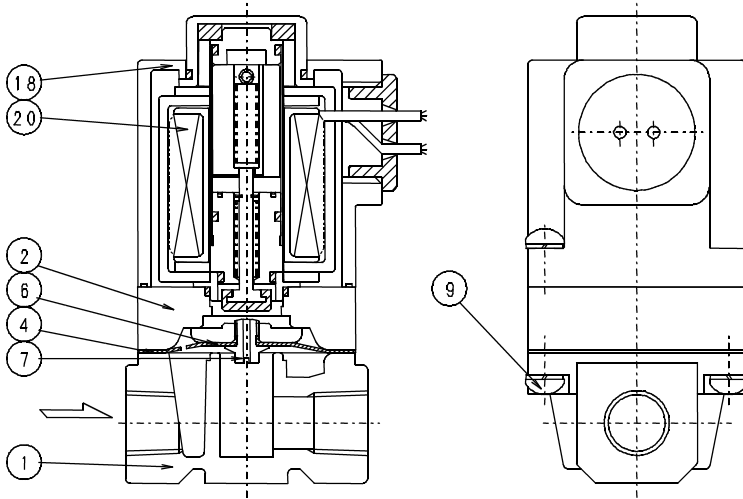
5.1 通電しても本弁が作動しないとき

- 1) 電気系統及び電磁コイルを点検してください。
- 2) 空気流れの場合はプランジャ(19)とパッキレスパイプ(21)を点検してください。これらの間にタール状のスラッジが付着して、プランジャが動かないときがあります。粘着物を取り除いてください。

5.2 流体漏れ

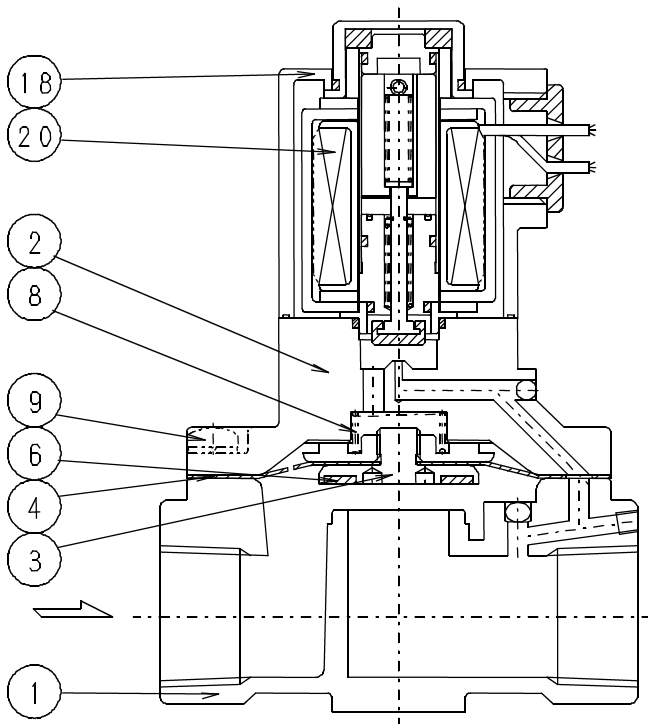
- 1) 弁閉時、二次側への漏れはバルブシートに異物噛みですので点検してください。
- 2) ダイヤフラムが直接に閉止作用をする形式では、二次側への漏れはダイヤフラムの破損です。点検してください。

8 A ~ 1 5 A



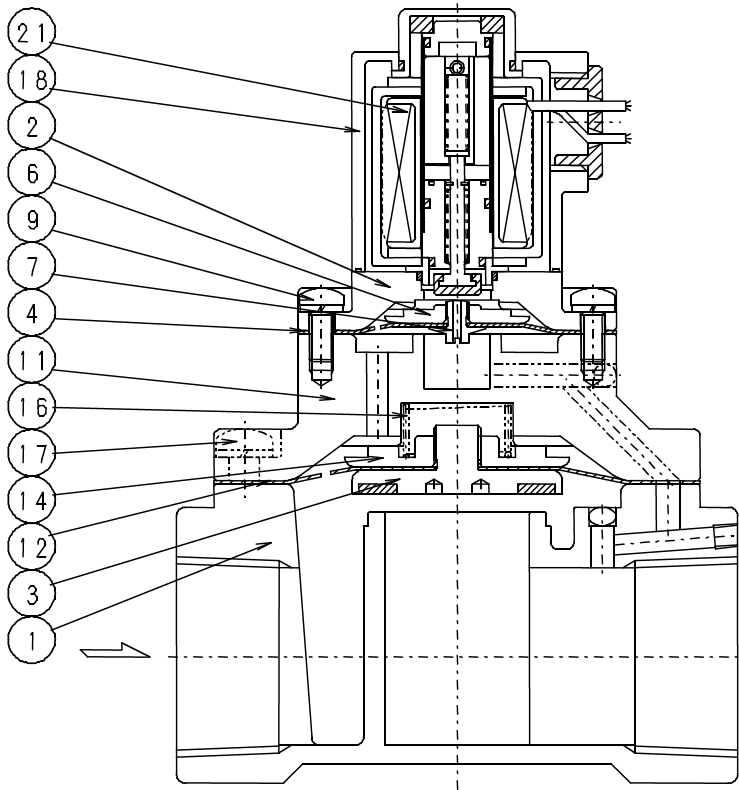
1	ボディ
2	カバー
3	
4	ダイヤフラム
5	
6	ダイヤフラムフォロー
7	パイロットオリフィス
8	
9	カバーベース
18	ソレノイドカバー
19	
20	パイロットバルブ

2 0 A、2 5 A



1	ボディ
2	カバー
3	バルブ
4	ダイヤフラム
5	
6	ダイヤフラムフォロー
7	
8	バルブバネ
9	カバーベース
18	ソレノイドカバー
19	
20	パイロットバルブ

40A



1	ボディ
2	カバー
3	バルブ
4	# 1ダイヤフラム
5	
6	# 1ダイヤフラムフォロー
7	# 1パイロットオリフィス
8	
9	カバービス
10	
11	ベース
12	# 2ダイヤフラム
13	
14	# 2ダイヤフラムフォロー
15	
16	バルブバネ
17	ベースビス
18	ソレノイドカバー
19	
20	
21	パイロットバルブ